

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 45 号

看護学生の臨床推論力を促進する教育プログラムの開発

(Development of an educational program to promote clinical reasoning skills among nursing students)

齋藤 雪絵 (さいとう ゆきえ)

博士 (看護学)

論文審査結果の要旨

本論文は、看護学生の臨床推論力を促進する教育プログラムを開発し、その評価を行うことを目的とした意義ある論文である。

研究は第 1 研究で初めて患者を受け持つ臨地実習を履修した看護系大学 3 年生 10 名を対象に、質的記述的方法を用いて看護学生が抱いていた臨床推論を行う上での困難さや学習上の課題を明らかにし、第 2 研究では、ADDIE モデルをベースとして第 1 研究の結果との統合により教育プログラムを作成した。第 3 研究においては、看護系 B 大学 3 年生 9 名に作成した教育プログラムの実施してもらい、学習到達度と学習の動機づけ、教材のユーザビリティ評価を収斂型混合研法を用いて行った。その結果、量的調査ではその有効性を明示するに至らなかったが、質的調査では、新たな臨床推論の視点を獲得していることが判明した。本研究で作成した学習教材の特徴は、臨床推論の考え方の思考過程を段階的に可視化したことであり、新たな思考の視点を獲得できていることから、思考過程が見える化したことは効果的であったと考える。さらに、看護学生が目指す、看護師としてのゴールを示す要素を入れた教材設計することにより、この学習教材の価値づけがなされ、さらに動機づけることができたのではないかと考えられる。また、学習教材を何度も反復学習することで学習内容は定着化され、学習到達度が向上する可能性があるとし唆された。本研究は看護基礎教育における臨床判断力の養成に大きな影響を及ぼす臨床推論力を高める画期的な研究であり、看護基礎教育に大いなる成果をもたらすものである。よって、本論文は博士 (看護学) の学位を授与するに値するものと判定した。